

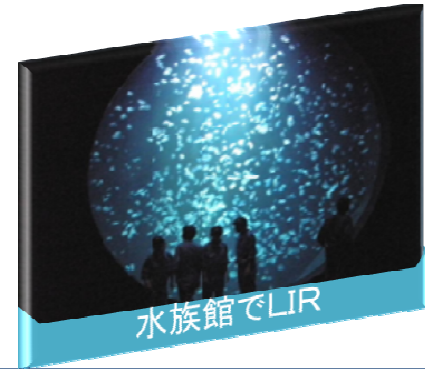


中型船でLIR

# 海を活かす・守る・興す 人づくり

Local Inclusive Regeneration

## LIRプロジェクト



水族館でLIR

### - 地域再生の原動力 -

#### A 「海を活かす人づくり」

「海・船・水産物のスペシャリスト」として地域に貢献できる人づくりを行う。特に、加茂水族館との連携を強め、海の恵みの大切さを伝えることができる人材を育成する。

- A-1 窒素水活用による地域課題解決型学習
- A-2 地域に密着し安全で安心な新水産加工品の開発
- A-3 新加茂水族館に対応した学校設定科目
- A-4 産学官連携による水産業担い手育成プログラムの開発と実践・検証

#### B 「海を守る人づくり」

豊かな海を継承するため、地域の環境保全と水産業の振興・地域の活性化に取り組む人材を育成する。

- B-1 海洋資源保全に貢献できる学習と研究
- B-2 海洋教育研究会による幼児期からの水産キャリア教育

#### C 「海を興す人づくり」

地域の漁法や食文化を伝承しつつ、自らの創意工夫によって地域と連携し、水産業に貢献できる人材を育成する。

- C-1 中型実習船を効果的に活用した特色ある教育実践
- C-2 メタンハイドレートの研究
- C-3 総合実習・課題研究等による伝承漁法や漁具の改善と実践研究

#### 山形県水産振興計画

- 漁業の担い手の確保・育成
- 水産資源の回復・維持
- 水産物の安全安心の確保
- 漁業者の収益向上及び観光業加工業等関連産業の振興
- 振興施策を支える試験研究の推進

#### 加茂水産高校の教育目標

海の恵みがより必要とされるこれからの時代に対応し、水産・海洋に関する基本的知識と技術を身につけ、その分野の産業の発展と地域社会に貢献できる心豊かなたくましい人間を育成する。

#### 学習指導要領のねらい

- 水産物の流通経路、消費者ニーズの変化、水産業を取り巻く状況の変化に対応できること。
- 海洋環境の保全・海洋の多面的活用など、新たな時代の水産業や海洋関連産業を支える人材を育成すること。
- 水産・海洋資源の持続的・有効的活用、魚食文化、環境保全など、水産や海洋を幅広く学習に取り入れること。